

私の学生生活



1年次 コロナ禍で外出自粛。漫画にゲームにインドア趣味にのめり込みました。



2年次 徐々にキャンパスへ通えるようになり、バレーボールサークルへ参加。ようやく友人ができました。



3年次 就職活動を開始。企業研究やOB訪問だけでなく、志望する会社が入っている施設などにも積極的に足を運び、能動的な情報収集を心がけました。



4年次 卒業論文にも取り組みつつ、休日を満喫。積極的に旅行などへ行き、時間があるうちにしかできない体験を満喫しました。



4年 | 大上 颯太さん

内定先 | 株式会社集英社

西洋史学専攻 / 東京都立立川高等学校 出身

進路を模索中に 何度も折れかけた心 原点に立ち返ることで 道が開けました

自分の好きな分野に立ち返り 舵を切った就職活動

子どもの頃から漫画が好きで、読んだり描いたりしていました。その一方、高校時代の世界史の先生に憧れ、先生の出身校と同じ中央大学文学部へ進学しました。しかし教職課程を履修して勉強を続ける中、ふと迷いが生じます。人の人生に関わる聖職を自分は全うできるだろうか、と。自身のスタンスに疑問を抱いた私は教育実習を待たずに教員の道を断念、漫画やゲームなど大好きなマスコミ&エンタメ系の分野に立ち返り、就職活動に舵を切りました。

自分の欠点に気づけて 大きく成長

就活中はインターンシップやキャリアセンター主催のマスコミセミナーに積極的に参加、外部講師のご指導を通して自分の欠点に気づいたことでそれまでの価値観から脱皮し、大きく成長することができました。OBの方々のアドバイスを大変参考になりました。面接試験に当たっては想定問答を300問以上用意するなど毎回入念に準備、その結果、第一志望の出版社から内定を得ました。悩み模索した経験も糧に、良い編集者になれるよう頑張ります。



将来設計について考える 文学部のキャリア教育科目

文学部では1・2年次配当で「キャリアデザイン」という科目を設置し、低年次から自分の将来設計について考える場を提供しています。

キャリアデザイン

前期はさまざまな分野からゲストスピーカーを招き、キャリアを考えるうえで不可欠なテーマについてご講演いただき、自分自身の人生をどう生きていくのか、仕事をどう捉えていくかを考えます。後期は企業の新卒採用を支援する現役コンサルタントの方が講師となり、「企業や社会の捉え方」「自己理解を深めるアプローチ」について考えます。キャリアや進路選択を自分で考える「土台」づくりの役に立つ「ものの見方(フレームワーク)」を理解し、応用できることを目指します。

キャリアを叶えるまでの4年間

1年次	必修科目を中心に ずっと好きだった西洋史学を学ぶ
2年次	教職課程を履修し、教育の難しさを知る
3年次	マスコミセミナーに参加、 出版社内定に向けて本格的に就職活動を始める
4年次	無事内定獲得、 4年間の集大成として卒業論文に力をいれる